

青年労働者がアルタ前で宣伝

組合に入り声あげよう



舞台上上がった東京土建の青年部のメンバー。中央が発言する新島さん

都内の労働組合青年部など21団体86人(東京土建は28人)は11月7日、新宿アルタ前で労働条件の改善、最低賃金の大幅引き上げ、労働組合への加入などを訴え、大宣伝行動を行いました。

コロナの緊急事態宣言が明け、若者が盛んに行き交うなかを、行動参加者はマスクにカラフルな「TOKYO J A C K」のシールを貼って行動しました。「人間らしく暮らせる補償を」などと書かれたボードを掲げるスタンディング、働く権利手帳などが折り込まれたティッシュを配布、「テレワークの普及 困ったことは」などをたずねるシール

ランゲートを行ないました。臨時の舞台では11人がスピーチしました。東京土建からは新島秀成副部長(練馬)が発言。コロナ禍の建設業への深刻な影響、それに対する組合での建設アクションの取り組み、建設労働者のエッセンシャルワーカーとしての役割、一方で低賃金・長時間労働による若年労働者の離職の問題などを話し、声を上げれば変えることができると訴えました。労働組合に加入して一緒に運動をすすめよう」と訴えました。

アスベスト ニチアスに抗議 地裁では3人が証言



雨の中、抗議する行動参加者

10月27日、東京地裁で首都圏建設アスベスト訴訟3陣第5期日の開廷に合わせ、被告企業ニチアスへの昼休み社前抗議行動を約110人(東京土建は60人)の参加で行ないました。松本久人統一本部副本部長を先頭に原

憲法公布75周年に行動 改憲は許さない



参加者は「改憲阻止」をアピール

11月3日、国会正門前で「平和といのちと人権を！」を掲げ、憲法大行動が行なわれ、1200人の市民(ユーチュー

告7人を含む12人が、降りしきる雨のなか、経営者が真摯な謝罪をせず、補償基金制度に背を向け、いたずらに裁判引き延ばしをはかるニチアスを厳しく批判しました。昼食時でニチアスの社員の出入りはありましたが、一様に無言で通り過ぎていきました。さらに抗議行動中、ニチアス側は正面の自動ドアを施錠し、要求に応じない態度をあらわさまに示しました。参加者は要求に答えるまで抗議

1つでも配信、東京土建は73人が参加しました。この日は憲法公布75周年です。主催者を代表して高田健さんは「総選挙では市民連合と野党の共闘で4分の3の選挙区で候補者一本化ができ、62の選挙区で勝利した。しかし自民党に単独過半数を許し、与党と維新という改憲派が3分の2の議席を越えるという事態を招いてしまった。立憲民主党の中では執行部の交代が論じられ、マスコミは野党共闘の再検討キャンペーンを行なっている。もし共闘がなければ、62選挙区での勝利も

出入りはありましたが、一様に無言で通り過ぎていきました。さらに抗議行動中、ニチアス側は正面の自動ドアを施錠し、要求に応じない態度をあらわさまに示しました。参加者は要求に答えるまで抗議

拡大月間がんばったー青年部、主婦の会、シニア友の会

青年部 目標のほぼ2倍増やす 文京支部で再建



再建された文京支部青年部。本部の中間決起イベントに5人で参加

【本部・宮内竜平記】青年部秋の拡大月間は部員拡大目標144人に対し280人で全支部が目標を達成しました。教訓の一つ目は、今年度までのCCU

S技能者登録特例の申請は、73件とチャレンジ助成金の声掛けが多く支部ですすみましました。2つ目は、「部会が活動の生命線」と意思統一し、仲間を依拠した成果持ち寄りが行なわれました。3つ目は、分会・群・後継者対策と協働・共同は、青年部の活性化・活動家育成に不可欠と改めて気づかされた点です。

4つ目は、独自課題にチャレンジし課題を克服した月間となったことです。文京支部では、新加入の事業主の対話から組合活動への理解がすすみ、青年部を再建しました。

全会員訪問を位置づけて

主婦の会

【主婦の会・君塚徳子副会長記】秋の拡大月間目標達成に向けた連日の行動、大変お疲れ様でした。行動に協力

み、建設労働者のエッセンシャルワーカーとしての役割、一方で低賃金・長時間労働による若年労働者の離職の問題などを話し、声を上げれば変えることができます。労働組合に加入して一緒に運動をすすめよう」と訴えました。

達成支部は 昨年を上回る

シニア

【本部・田崎遊記】秋の拡大月間では、「仲間の居場所」であるシニア友の会の力を発揮し、多くの支部で役員や連絡員から会員への電話かけ、未加入者への加入呼びかけの訪問や電話連絡を中心に取り組みしました。全都で462人の新たな仲間を迎え、昨年を上回る27支部が目標を達成

していただいた皆様に改めて感謝申し上げます。会員拡大目標382人に対し556人の新しい仲間を迎えることができました。また、組合員拡大、行動参加の本部目標も達成し、2年ぶりに3目標を達成することができました。主婦の会では「全会員訪問」を位置づけ、会員を増やす取り組みを進めました。全会員への電話かけやはがきの送付などからも加入が生まれました。

また、LINEやInstagramなどSNSの活用が進められ、QRコードでの加入申し込みやイベントのチラシや写真の閲覧ができるなど、主婦の会を知ってもらう

足立 月間にCCUS説明会 「理解深まった」

足立

【本部・吉田博道記】拡大月間も大詰め、10月29日、拡大行動の一環として未加入事業者も対象に、建設キャリアアップシステム(シニア友の会)の活用を進めました。全会員への電話かけやはがきの送付などからも加入が生まれました。

【足立】書記が東京土建のメリット、吉田書記が申請書の説明をしました。参加者からは「予約が必要で申請する時間が取れずいたが、今回は事業者も技能者も一括して進められて助かった」「元請からやってこいと言われたが、参加してみても書き方もそうだが、システムの利用も深まった」等、大変好評な声を頂きました。最後にゴールドカードを取得している、技術対策委員会村上委員長より、今後の建設業でのシステムの有用性、適切な賃金獲得にいかにかこのシステムが有効かというお話がありました。

参加者は20人ほどとなりました。始めに、真木委員長より東京土建についてのお話と、未加入の方でもわかるように拡大行動の必要性についての説明がありました。続いて吉見

なかつた。憲法、安保法制、コロナ、辺野古、ジェンダー、環境など引き続き緊急な課題だ。日常の活動を強め、来年の参院選で改憲とアジアの緊張激化をはかる与党の路線を転換させよう」と訴えました。

その後、憲法を活かすという市民の発言、近藤昭一(立民)、田村智子(共産)、福島瑞穂(社民)の各議員の連帯表明がありました。

【足立】書記が東京土建のメリット、吉田書記が申請書の説明をしました。参加者からは「予約が必要で申請する時間が取れずいたが、今回は事業者も技能者も一括して進められて助かった」「元請からやってこいと言われたが、参加してみても書き方もそうだが、システムの利用も深まった」等、大変好評な声を頂きました。最後にゴールドカードを取得している、技術対策委員会村上委員長より、今後の建設業でのシステムの有用性、適切な賃金獲得にいかにかこのシステムが有効かというお話がありました。